

APEC 女性と経済フォーラム 2019 (WEF)
女性と経済に関する官民対話 (PPDWE)
林 横浜市長 パネルディスカッション
「指導的地位の女性の数を増やす」

2019年10月3日

- 女性リーダーは、男性リーダーばかりで意思決定がなされていた組織に新しい視点を入れ、変革をもたらすことができます。
- 私自身、半世紀以上に及ぶ職業人生で、このことを、身をもって経験してきました。
- 管理職としても、経営者としても、女性である私は常にマイノリティでしたが、女性の強みである、相手に寄り添う共感力、包容力を活かしたマネジメントで、部下をモチベートし、業績を向上させてきました。
- 男性と女性双方が、それぞれの強みを発揮することで、組織が活性化し、新たなソリューションを生み出すことができます。
- 横浜市は、女性の起業支援に力を注いでおり、事業を立ち上げる方への低利融資、専門家によるコンサルティング、女性起業家専用のシェアオフィス、大型商業施設や百貨店と連携した商品販売など、一人ひとりにきめ細かな支援をしています。
- こうした支援を活用して起業した女性は、8年間で316人に及び、85%の事業継続率をあげています。
- また、大学生や、企業において管理職を目指す人、役員候補となる女性部長などを対象に、それぞれのステージに応じてキャリアを考え、スキルを身に付ける研修を実施しています。
- 女性を育成・登用するために、支援制度やツールを整えることは必要です。
- しかし、何よりも大切なのは、多くの女性が不安を抱えていることを理解し、寄り添うこと、そのうえで、リーダーの立場にある人が包容力と愛情をもって、「あなたならできる」と後押しすることです。